

立命館経済學

第二十五卷 第一号

昭和五十一年四月

内 容

論 説

- 「有効需要の原理」と IS-LM 分析小 野 進 1
——ケインズ理論の現代的解釈によせて——
- 利潤と剰余労働.....北 野 正 一 83
——固定設備の耐用年数の決定を中心に——
- 欧州共同体の地域経済問題(二).....清 水 貞 俊 109

翻 訳

- フランスにおける労働者とその家族の権利(三).....戸木田 嘉 久 154
——フランス労働総同盟『ポケット法律便覧』から——
- イングラム「タイの米価問題」.....田 坂 敏 雄 183

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第二十四卷・第四号

論 説

欧州共同体の地域経済問題……………清水貞俊

寡占的諸行動と
マクロ的影響について……………北野正一

——寡占価格論への一接近——

翻 訳

フランスにおける
労働者とその家族の権利(一)……………戸木田 嘉久

——フランス労働総同盟

『ポケット法律便覧』から——

パルヴス「世界市場と

農業恐慌」(四)……………大藪輝雄
鈴木敏正

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第二十四卷・第五・六号

論 説

結合生産・価値・剰余価値……………甲賀光秀

——Marx 剰余価値論への
新しいタイプの批判について——

産業資本主義段階における

近代的独占の存在形態(一)……………若林洋夫

——北東イングランド石炭独占の歴史的性格——

研 究

戦後における企業内教育の展開……………三富紀敬

一九二〇年代造船業における

資本制的労働過程……………清水憲一

——川崎造船所を中心として——

翻 訳

フランスにおける労働者と

その家族の権利(二)……………戸木田 嘉久

——フランス労働総同盟

『ポケット法律便覧』から——

共同研究室

発行所 立命館大学経済学会